

ブースター接種

市長が行く

No.134



茂原市長 田 中 豊 彦

一昨年の今頃にはまだ世界をここまで震撼させるとは思われていなかつた新型コロナウイルスによる感染は、2年たつた今でもいまだに終息しておらず、ここへきてまた多くの国でブレイクスルー感染（ワクチン接種後に感染すること）が起きてきています。特に欧米、ロシア等で感染がひどく、日本においても3回目のワクチン接種（ブースターワクチン接種）が必要といわれるようになります。そのため、茂原市でも、医療従事者から順に、来年の1月から接種していく予定です。

皆様のご協力により、茂原市のワクチン2回接種者の数が、11月末までには対象者の約85%にまでなるため、都市部の方から、新たなウイルスの再拡大が起らぬ限り、少しは息をつけるのではないかという気がしています。

日本においてなぜ急激にコロナ感染者が減少してきたのかというその理由については、これといった納得できるような回答が見出せませんが、一

部においていわれているのが、日本人特有の規律を守つた行動、行動規範の遵守ではない何かということです。日本人は皆きちんとマスクをすることを守り、コロナ感染者が減つてきたからといってすぐに外したりはしません。どこへ行っても、手指の消毒を欠かさず、さまざまな場所で体温を測定する装置が設置され、飲食店におけるパーテーションなども工夫されています。

また、ワクチン接種についていえば、ファイザー社のワクチンは非常に取り扱いが難しく、デイープフリーザーを使いマイナス70度で管理しなくてはならず、それから溶かして希釈して限られた時間内に接種することが求められます。一度開けてしまうと使い切らなければ無駄になってしまいますし、しかも1ビンで6人分という中途半端な数字

それにして、3回目のワクチン接種となると接種後の副反応がひどかつた方などは不安もあるでしょうし、今後の治療薬の開発をにらみ、接種を見合わせる人が出てくることも考えられます。一方で、現在の感染者数減少の一つ原因是、2回のワクチン接種の効果なのだから、3回目のワクチン接種をすべきという考え方もあります。できればこのままで第6波が来ることなく、新しい年を迎えることを願つてやみません。

ス20度での管理で、1ビンで10人分の接種が可能で、希釈

するのもなく使用することができますが、取り扱い上は便利なのでですが、日本ではファイザー社製が先行したため、多くの国民はこのワクチンを打つてきています。この難しいワクチンの取り扱い方法においても、日本人はそれを製造元であるファイザー社の言う通りきちんと守つたので、ワクチンの有効性が高まつたのではないかという意見もあります。

（11月15日執筆）